

授業科目 人間学

【担当教員名】 生田孝至	対象学年	1	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要及び学習目標】

この授業では、人間を多様な視点から考察し、人の間で生きることを考えてみる。その際、人間を他人事でとらえるのではなく、自分を対象に人間としての自分をとらえることをベースとする。発達的にとらえた場合の人間では、各自のこれまでの成長とこれからの成長を視野におき、自分の成長発達の中で人間としての自分を考える。さらには、社会的存在としての人間を、個人の発達とは異なる視点から考察する。

さらに国や社会の発展と人間の関係は何であるか、そして人類が蓄積してきた「科学の知」によってもたらされたものは何であるかを問う。すなわち科学の知によって産み出された富と負の影響を検討し、今日言われている「臨床の知」の概念を考察することにより、人間の本来のあり方を問う。また、臨床の知を、実践知や身体知との関係で考察し、人間の本質性について論述する。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	ガイダンス	この授業での学習の目標と過程を説明し、必要に応じて、学習班を編成する。	講義
2	人とは何か	人とは何かを、先人の緒論を援用しながら、それぞれの特徴と考察の方向性について概説する。哲学的考察と社会学的考察に焦点をおく。	講義
3	人の発達の理解	人間の発達を、誕生から死までの過程の中でその特徴を概説する。物理的成長と精神的成長の特徴を検討する	講義
4, 5	科学知と臨床の知	科学の発達によって得られた知と社会の関係を概説し、それによって受けたマイナスの影響を考察する。そして、臨床の知が今求められる理由と、その特徴を検討する。	集団
6, 7	人間としての自己	自分を人間として振り返り、全体としての自分を、身体的感覚により把握するとともに、職業人としての自分を生涯発達の視野から考察する。	集団

【評価方法】

レポートにより評価する

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
参考書	臨床の知とは何か 我と汝・対話	中村雄二郎	岩波書店	2000
		マルチンブーバー	岩波書店	1988